

各位

全3ページ

登録速報(2026-007)

2025年12月3日

クミアイ化学工業株式会社

企画普及部普及課

登録速報

下記の通り、注意事項変更届けを提出しましたので、ご連絡します。

提出日：2025年11月21日

(注意事項は届けを提出した段階で、登録変更となります)

記

1. 農薬の登録番号及び名称

登録番号：第18821号

名 称：ベルクート水和剤（日本曹達（株）登録）

2. 変更を生じた年月日

令和7年11月21日

3. 変更を生じた事項及び変更の内容

農薬登録申請書第7項又は8項について別紙に記載する番号の注意事項を以下のとおり変更し、変更後のとおりとする。

変更する注意事項

＜変更前＞

使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。

＜変更後＞

使用量に合わせ薬液を調製し、速やかに使いきること。

4. 変更の理由

適切な注意事項とするため。

令和7年11月21日付で、農薬登録申請書第8項について以下の注意事項を変更し、
変更後のとおりとする。

記

変更する注意事項

＜変更前＞

(14) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。

＜変更後＞

(14) 使用量に合わせ薬液を調製し、速やかに使いきること。

【8項 変更後】

- (1) 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用すること。
- (2) りんごに使用する場合、芽出し2週間過ぎから落花後25日ごろまではさび果を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけること。
- (3) なしに使用する場合、西洋なし品種ル レクチエではさび果を生じるので使用しないこと。
- (4) ももに使用する場合、缶桃14号等の缶詰用品種では葉に薬斑を生じるので使用しないこと。
- (5) 本剤をおうとうに使用する場合は、着色始期から中期の散布では薬害(着色障害)が生じるおそれがあるので使用しないこと。
- (6) かきに使用する場合、西村早生では葉に薬斑を生じるので使用しないこと。
- (7) メロンに使用する場合、交配2~3日前から交配2週間後までの幼果の時期には、薬害を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけること。また、若葉への散布や高温時の散布では、薬害を生じることがあるので注意すること。
- (8) キャベツに使用する場合、浸透性を高める効果のある一部の展着剤を混用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤混用に当たっては事前にその適否を確認すること。
- (9) ばらに対して薬害を生じるので、かかるないように注意して散布すること。
- (10) 蚕に対して毒性があるので、桑にかかるないように注意して散布すること。
- (11) 敷布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節すること。
- (12) 無人航空機による散布を行う場合には、次の注意事項を遵守すること。
 - ① 敷布機種の散布基準に従って行うこと。
 - ② 敷布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ③ 敷布中に薬液の漏洩がないよう、事前に機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ④ 敷布薬剤の飛散によって他の動植物等に影響を与えないよう、散布区域の選

定に注意するとともに、散布区域内の諸物件に十分留意すること。

- (13) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (14) 使用量に合わせ薬液を調製し、速やかに使いきること。
- (15) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以上